

言語文化教育研究学会 第82回例会

ナラティブと言語教育について語る会

『ナラティブでひらく言語教育：理論と実践』

読書会【理論編】

コメンテーター

サトウタツヤ氏（立命館大学）

理論編紹介

北出慶子・嶋津百代・三代純平

日時：3月18日（金）15:00-17:00

場所：オンライン（ZOOM）開催

参加費：無料

参加申込：右QRコードより

お問合せ：project@alce.jp（企画委員会）



JSPS科研費20K00713（基盤研究(C)「日本語教師養成における実践的コミュニケーション能力育成プログラムの開発」研究代表者：嶋津百代）との共催になります。

ナラティブで ひらく 言語教育

理論と実践

北出慶子・嶋津百代・三代純平 編

異なる価値観や生き方がすぐ隣り
合わせにある言語教育の現場は、
現代社会が取り組むべき課題に
あふれている。そこで着目したの
がナラティブ・アプローチである。
単なる語学学習を超えて社会課
題の解決にもつながる言語教育の
新たな可能性とは。

新曜社

多文化
共生社会
をめざす
言語教育
の新たな
可能性